

エンジニア就職前に 知っておくべき壁

ピクスタ株式会社 星直史

自己紹介



星直史
@NaoshiHoshi



Backends
For
Frontends

新卒入社したSlerでC#, Javaを学んだ後、ピクスタ株式会社に2012年に入社。写真素材・ストックフォト「PIXTA」の改善改修に従事。その後、開発リーダー、マネージャーを経て、2018年1月より開発部長に就任。

エンジニアの採用、育成、組織作りに取り組んでいる。

今日話すこと

エンジニア業界の全体像を掴む

受講修了後の面接の壁

入社した後に待ち構える壁

今日話すこと

エンジニア業界の全体像を掴む

受講修了後の面接の壁

入社した後に待ち構える壁

エンジニア業界の全体像を掴む

- 業種 / 契約による違い
 - Sler(受託 / SES)
 - 自社サービス開発
- Web自社サービスの企業規模による違い
 - 小規模
 - 中規模
 - 大規模

Sler(受託 / SES)

- 概要

- 中～大規模の受託開発案件を大人数で開発
- 自社内だけではなく、複数の協力会社の人員を組み合わせて開発
- ウォータフォール型開発、Excelによる仕様書、枯れた技術を好んで使う
- 開発環境の異なる様々な案件で経験を積みやすい

Sler(受託 / SES)

- 発注-受注関係にある。利害が一致しない。
 - 発注側は、新しい技術を導入する際の学習コストを支払いたくない
 - 受注側は生産性を向上させるメリットがない

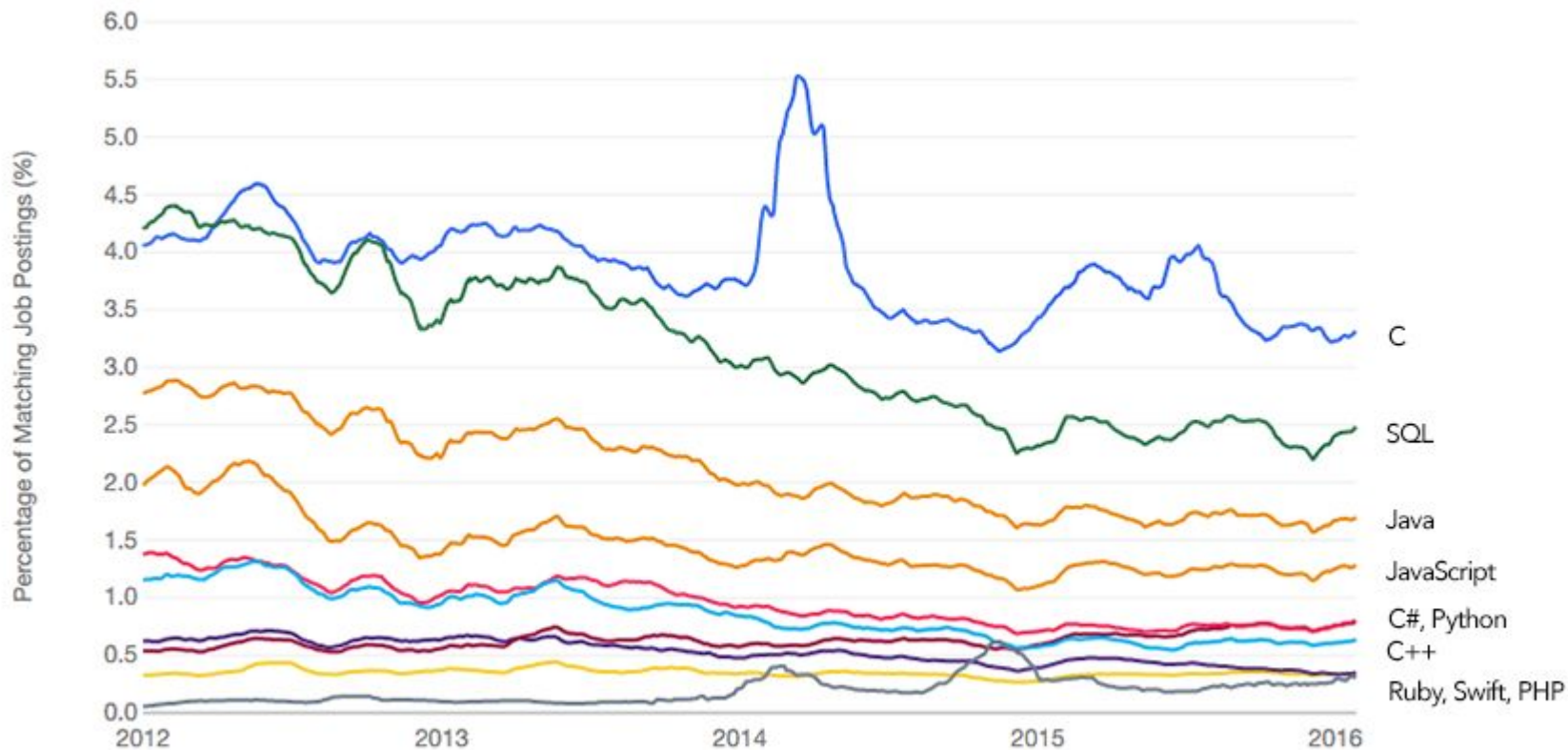
Sler(受託 / SES)

- 受注側は発注側との齟齬を無くしたい。そのために...
 - Excelによる仕様書
 - Excelによるスクリーンショットの撮影
- 受注側は月給30万のエンジニアで月100万売上

Sler(受託 / SES)

- メリット
 - 数ヶ月単位で様々な開発環境を経験を積める
 - 言語、FW、DBなど
 - Java, C#, Oracle, SQL Server
 - 人口が極大であるため、職を失う可能性が低い
- デメリット
 - 枯れた技術を使うことが多い
 - 一見不毛な作業を行う場合もある

Sler(受託 / SES)



自社サービス

- 概要

- 小～大規模のWebサービスを少人数で開発
- プロダクトの質や生産性を上げることに注力した開発
- リリース頻度や開発スピードが速い
- 一人当たりの裁量が大きい

自社サービス

- 文化や雰囲気は会社ごとチームによって異なる
- プロダクトの成熟度や会社の規模によって異なる
 - エンジニアの裁量/守備範囲
 - 新しい技術の導入しやすさ
 - 安定性(テストカバレッジ, インフラ)
 - CI/CD環境
 - チームメンバーのレベル

自社サービス

	小規模	中規模	大規模
裁量/守備範囲	広い	分業化されたチーム	狭い
新技術導入	容易	影響範囲に左右	困難
テストカバレッジ	低い	必要十分	高い
CI/CD環境	なし	部分的	有り
メンバーのレベル	低い	一部高い	高い

今日話すこと

エンジニア業界の全体像を掴む

受講修了後の面接の壁

入社した後に待ち構える壁

受講修了後の面接の壁

- 私のエンジニア遍歴
- 受講終了後の現状認識
- 求める水準と面接で見られるポイント

私のエンジニア遍歴

- 基本的に平日3時間、休日8時間は自己研鑽
- 1,2年目: 下積み時代
 - いちエンジニアとして独り立ちすることが目標
 - Railsと若干のJSのみ触れる状態
- 3年目: インフラや業務知識もつきリーダーに昇格
 - Webアプリケーション全体の理解ができる状態
- 4年目以降: リーダー、マネージャー、部長に。

業務時間 160時間 / 月 + 自己研鑽 120 時間/ 月

=> 3,360時間 / 年 学習して3年目で一人前になれた

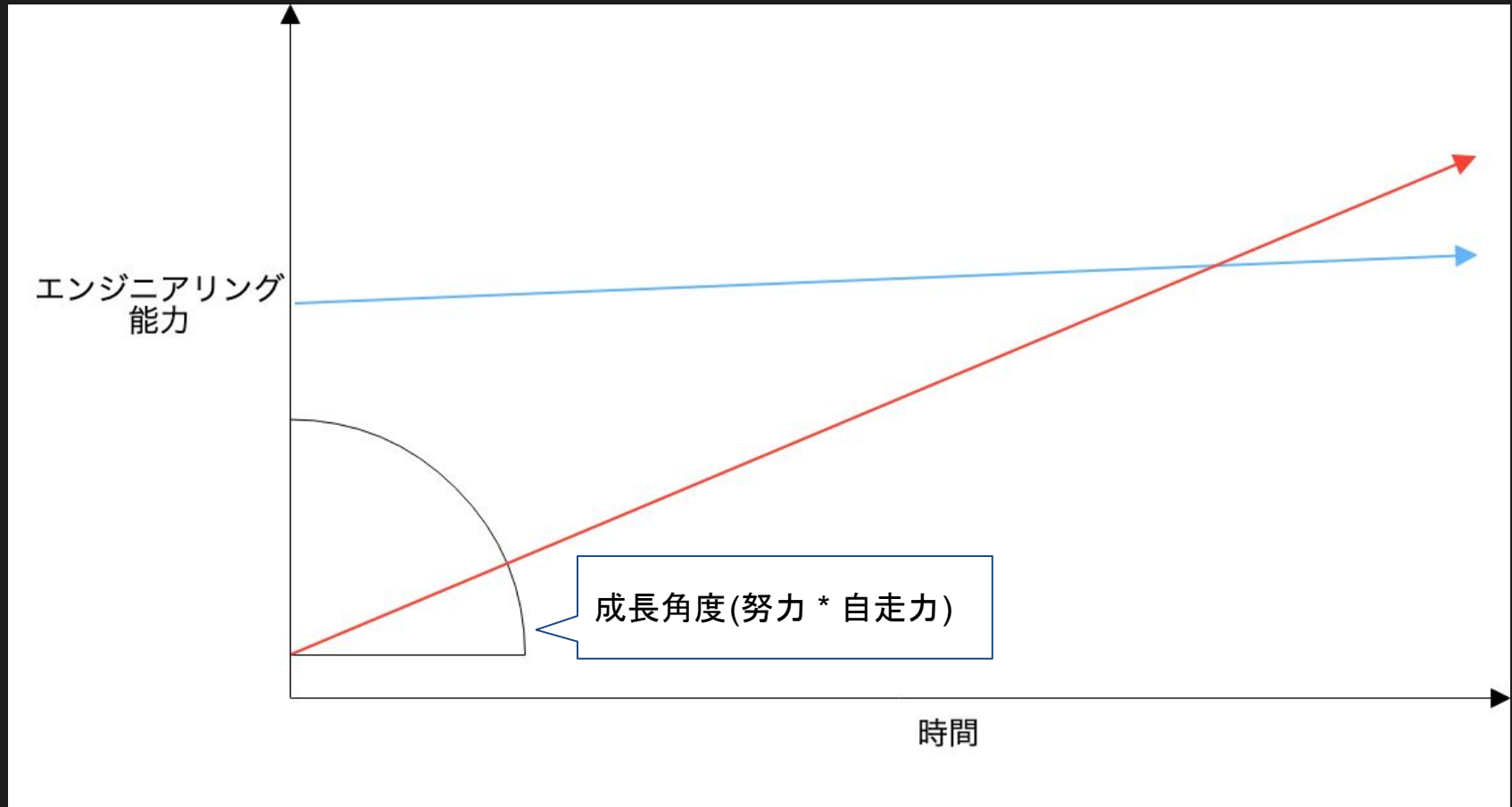
受講終了後の現状認識

- 学習時間 720時間
 - 未経験で入社して3ヶ月経過したレベル
 - 実務レベルではない
 - CRUD + 画像アップロードくらいは習った...?
 - それくらいはできて欲しい
 - 先輩エンジニアを一人つけなければならない
 - 教育コストが高い
 - 文言修正くらいなら任せられるか....。
 - 成果を出すことを期待していない

求める水準と面接で見られるポイント

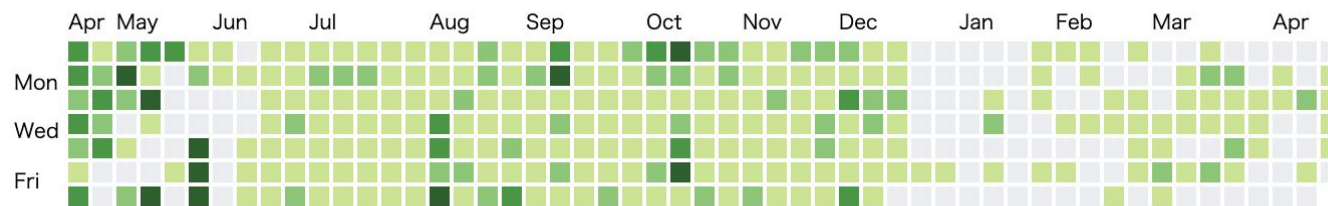
- 技術力
 - 不問。期待をしていない。
- 成長角度
 - エンジニアを志してから自己研鑽してきたか
 - != スクールの課題を終えたか
 - 自走力
 - 問題にぶち当たった時に自力で解決できるか
 - 何が問題かを切り分けて一つずつ検証できるか

求める水準と面接で見られるポイント

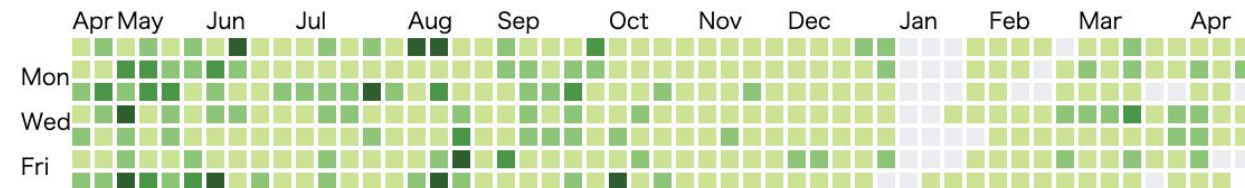


求める水準と面接で見られるポイント

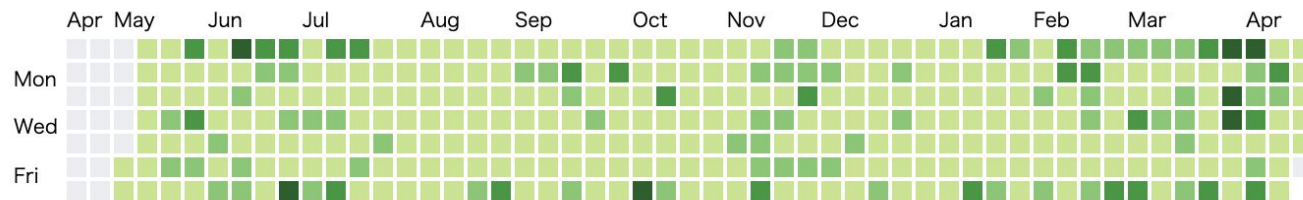
新卒未経験の
Tさん



入社1年でリー
ダーになった
Tさん



私



今日話すこと

エンジニア業界の全体像を掴む

受講修了後の面接の壁

入社した後に待ち構える壁

入社した後に待ち構える壁

- スクール受講生によくある傾向
- タスク例とエンジニアの動き方
- 活躍しているエンジニアの動きと考え方

スクール受講生によくある傾向

- Rails以外のスキルの低さ
 - Linuxコマンド
- スクールで習ったこと以外はわからない
 - 教材をなぞっただけ...?
 - 質問の質
 - ちゃんと自分で調べたの...?

スクール受講生によくある傾向

- Rails以外のスキルの低さ
 - Linuxコマンド
- スクールで習ったこと以外はわからない
 - 教材をなぞっただけ...?
 - 質問の質
 - ちゃんと自分で調べたの...?

EC2インスタンス入って作業することが、
さらにあります ... !

スクール受講生によくある傾向

- Rails以外のスキルの低さ
 - Linuxコマンド
- スクールで習ったこと以外はわからない
 - 教材をなぞっただけ...?
 - 質問の質
 - ちゃんと自分で調べたの...?

EC2インスタンス入って作業することが、
さらにあります...!

メンターさんにすぐに聞く前に、
まずは自分で限界まで考える練習!

タスク例とエンジニアの動き方

- 1年目
 - 影響範囲が狭く、粒度が細かいタスク
 - 明確なタスクをこなす
 - <https://pixta.backlog.jp/view/DEV-21949>
- 2~3年目
 - 影響範囲が広く、粒度が荒いタスク
 - 問題や目的を明確にしてタスクに分解していく
 - <https://pixta.backlog.jp/view/DEV-19484>

活躍しているエンジニアの動きと考え方

- 継続して自己研鑽を行う
- アドバイスを素直に受け止め愚直に実行
- 魚ではなく釣り方を教わろうとする
- 自分の頭で考え抜く

自分では解けなかった問題について、先輩から教わった解き方を自分の中にストックし、類似の問題があった場合に自分で解決できるように取り組む。

=> ...ということに気づいて実践している

才能をつなぎ、
世界をポジティブにする

We're hiring!



Appendix

Railsの次に学ぶべきもの

自走力とは

Railsの次に学ぶべきもの

- 広げる
 - Javascript, AWS
- 深める
 - リーダブルコード
 - リファクタリング
 - メタプロ

自走力とは

- 定義
 - 与えられた課題を自力で解決する力
 - 課題を与えられずとも発見する力
- 与えられた課題を自力で解決する力とは
 - 思考体力(考え続けることができる力)
 - 内省習慣
 - 問題切り分け能力
 - 言語化能力などなど

自走力とは

内省習慣: 経験学習のサイクル

